

一橋大学

アジアをつなぐことば—言語と文化からみたアジア共同体

実施期間：2014年4月～7月

- 第1回 イ・ヨンスク（言語社会研究科教授）／鄭俊坤（ワンアジア財団首席研究員）
講義全体のオリエンテーション
- 第2回 ウィリアム・マロッティ（William Marotti）
カリフォルニア大学ロサンゼルス校准教授
現代日本文化とアジア
- 第3回 松永正義（言語社会研究科特任教授）
日本における〈アジア共同体論〉の系譜
- 第4回 ツェリン・シャキヤ（ブリティッシュ・コロンビア大学教授）
アジアからみたチベット近代史
- 第5回 朴慶哲（評論家）
現代韓国社会の諸相——「田舎医者」の目から見た韓国とアジア
- 第6回 崔鐘成（ソウル大学准教授）
東アジアにおける宗教と近代社会
- 第7回 フフバートル（昭和女子大学准教授）
モンゴルからみたアジア共同体
- 第8回 森壮也（アジア経済研究所）
アジアにおける開発と障害
- 第9回 高地薫（大東文化大学非常勤講師）
インドネシアにおける言語と社会——東南アジアの多言語社会を考える
- 第10回 鈴木珠里（中央大学非常勤講師、イラン文学翻訳家）
イランの現代文学と女性詩人——イスラームとジェンダー
- 第11回 井上真従文（言語社会研究科准教授）
アジアと交差するアメリカ——女性詩人テレサ・ハッキョン・チャについて
- 第12回 鈴木将久（言語社会研究科教授）
中国におけるモダニズムと近代表象
- 第13回 星名宏修（言語社会研究科教授）
多民族多言語社会としての台湾
- 第14回 坂井洋文（言語社会研究科教授）
「近代」への問い——中国知識人の苦闘
- 第15回 佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）
講義全体のまとめ——「アジア共同体」実現に向けて

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。